	評価の視点	学校の自己評価コメント	自己評定 (総合)	学校運営協 議会評価	学校運営協議会評価コメント
豊かな心の育成	(1) 規範意識の育成を図る。	○ 規範意識の育成を図る指導は積極的に行ったが、生徒の身に付いているかという点はまだである。継続指導が必要。	B	B	○ 校則や社会のルールを守らせる指導は学校はもとより家庭の躰であると考えます。挨拶は毎月の民児協及び地域の方々にも一声運動等の奨励の実践、命を大切に教育や人を思いやる心については、さくら聴覚支援学校、きりしま支援学校、交流会によって常に育成されていると考えます。 ○ 特別に支援が必要な生徒、いじめや不登校生徒への対応は管理職の先生以下、担任の先生、関係職員の方々の早急な対応に感謝しています。 ○ オープンスクール等でトイレが汚れていた。清掃ができていなかった。学校での環境によって、学力、生活態度にも影響力があると思う。 ○ 奉仕活動も積極的に参加され、ボランティア活動等も参加もあり、学校側の協力体制もみられた。 ○ 登下校時の挨拶がとても良いと思います。車の多い時間帯に自転車と徒歩の生徒さんが行き来していて冷や冷やしますが、ルールを守って走行しているように伺えます。 ○ 地域との連携が取れていて、とても良いと思う。
	(2) 基本的な生活習慣を確立する。	○ 基本的な生活習慣を身に付けさせるよう、日頃から見守りが出来ていたと思う。ボランティア活動にも生徒と一緒に取り組めた。更に活動に力を入れていきたい。			
	(3) 生命の尊重、感謝の心を育てる教育を推進する。	○ 豊かな心の育成を日々心がけ、実践を努力しているが、生徒の日々の姿からするとまだ努力が必要である。細かく丁寧な指導を心がけたい。			
	(4) きめ細やかな生徒指導に基づいた積極的な生徒指導を推進する。	○ 道徳の授業を中心に、朝・帰りの会を通じて、命を大切に指導を行った。清掃指導は特に、床磨き、整理整頓に力を入れ、生徒とともに活動した。無言の場が徹底できていないので、今後も継続指導をしていく。			
	(5) 清掃指導や奉仕活動の体験活動を充実させる。	○ 生徒理解、生徒指導に積極的に関わる努力を行った。学年で連携して指導する必要がある生徒もいるので、組織で動くよう共通理解していくとよい。			
	(6) 特別支援教育の充実を図る。	○ 学年委員会の活動の充実を目指し、リーダーの育成につなげていきたい。 ○ 清掃については、しっかりと時間いっぱい取り組む指導を続けた。 ○ 清掃活動においては率先垂範ができると良いと思った。 ○ 自分自身に余裕がなかった。改善したい。			
学力向上と授業改善	(1) 授業評価の実践と校内研修の充実を図る。	○ 学力の分析がもう少し必要であった。そこからでてる課題を具体的に対応していきたい。	B	B	○ 学力向上と授業については、各先生とも授業に対する創意工夫等がなされ生徒が分かりやすく楽しく授業をうけていた。 ○ 学習面においては、生徒・保護者・職員共に高い評価を認めている点について、高い学習指導については定評があることを外部より耳にすることが多く、学校運営協議員としても高い評価をしたいと思いません。今後の更なる向上を期待します。 ○ 例年と比較して不登校や不登校傾向の生徒が増えている点については、それぞれの事情に合せた、きめ細やかな指導が求められるのではないかと思います。なかなか難しい問題ではあるものの、解決に向けた努力に期待します。
	(2) 分かる授業の創造に努める。	○ Web 単元テストを活用して達成度の確認を行えた。			
	(3) めざす授業像を生かした指導方法の工夫改善に努める。	○ 教材を工夫し、指導に力を入れてきた。更に発表や自主的に活動出来るように考えていきたい。			
	(4) 各種学力検査、定期テスト等を分析し、指導に生かす。	○ 授業の様々な場面で思考力を育てる工夫を行っている。自分の意見を根拠を持って発表させるようにしている。技術面で個人差がある生徒には、個別指導を行っているが更に工夫改善が必要である。			
	(5) 「地区小中一貫教育推進」における小学校との連携に努める。	○ 定期テストへの取り組みがまだまだであった。語彙力アップに努めさせたい。表現力の育成は図られている。			
	(6) キャリア教育を推進する	○ 聞く姿勢など、学力の向上につながる。躰がとても大切である。			
家庭・地域・連携関係	(1) 地域の特性を生かした交流を推進する。	○ 生徒の地域の行事への参加や、ボランティア活動に積極的に取り組む生徒がたくさんおり、地域の方からも期待されている。今後も続けていきたい。	B	B	○ 地域との連携については西中学校の協力には地域の皆さんは感謝しています。 ○ 地域のまつりなど、ボランティア活動に積極的に参加してもらい助かっています。地域で会っても、よく挨拶をしてくれます。 ○ 参観日について現在は時間休を取ることもできるので、努めて全員出席して懇談会にも多くの参加を望みます。 ○ 地域が学校に支援できることは何か、今後とも協議したい。 ○ 職業講話は、講師の自己啓発につながっている。
	(2) 家庭・地域との協力体制を確立する。	○ 通信は毎週欠かさず発行し、生徒の情報をなるべく保護者に伝えるようにした。			
	(3) 広報を工夫する。	○ 通信等で参観日の参加の呼びかけを行ったが、参観率はあまり良くなかった。参観率アップを目指して工夫していきたい。			
	(4) 共に子どもをはぐくむ学校評価の充実を図る。	○ キャリア教育の視点で、もう少し通信を出していきたい。			